

# アレルギー総合診療スキルアップセミナー 2023

アレルギー疾患は有病率も高く、また1人の患者さんに複数のアレルギー疾患が合併することも多いため、自身の専門分野以外の知識が広く求められることが多い領域です。

本セミナーシリーズは、アレルギー疾患を俯瞰的・総合的にとらえ、患者さん中心の医療を実践するための一助となればと考えて企画いたしました。

慶應義塾大学の各診療科の講師陣より「診療編」「症例検討編」の全4回のセミナーを通じて、アレルギー疾患を総合的に診療するための知識とコツをお伝えいたします。今回、セミナーシリーズの「診察編②」を東京都アレルギー疾患治療専門研修として実施いたします。

## 診察編②

### 2023年12月13日（水） 19：00～20：30

#### ▶プログラム：

レクチャー1：蕁麻疹・アトピー性皮膚炎・薬疹の診断や鑑別ポイント  
(皮膚科・宮川明大)

レクチャー2：アレルギー性鼻炎の診断と治療のポイント  
(耳鼻咽喉科・中山梨絵)

レクチャー3：上眼瞼の翻転、眼瞼・結膜のアレルギー疾患の診断と鑑別  
(眼科・矢津啓之)

合同症例検討：症例をベースに各科の立場より、診断・治療についてのディスカッションを行います。

▶開催方法：WEB配信 (zoom)

▶対象：都内でアレルギー疾患診療に携わる医師 (医師以外の医療従事者も受講可能)

▶参加費：無料

▶申込方法：以下の2次元バーコードもしくはURLより参加登録をお願いいたします。

▶申込期限：2023年12月12日（火）

▶問合せ先：慶應義塾大学病院アレルギーセンター 正木克宜：masakik@keio.jp

※日本医師会生涯教育制度1.5単位が取得可能です。(CC：10「チーム医療」)

※アレルギー総合診療スキルアップセミナーシリーズ(全4回)全体については、裏面に掲載しております。



申し込みに当たっては、上記の正木のメールアドレス宛に

「令和5年度 東京都アレルギー疾患治療専門研修 申し込み」と題し、  
医籍登録番号、氏名(フリガナ)、性別、所属をご教示ください。

例：123456 都医 一郎(トイ イチロウ)、男性、A診療所

↳ QRコードより、メーラーと記載必要事項が自動的に立ち上がります。

主催：慶應アレルギーセンター

協力：ENGAGE-TF



ENGAGE-TF toward 2030

# アレルギー総合診療スキルアップセミナー 2023

開催・参加方法

WEB配信 (zoom)

配信を終了した回については、メーリングリスト登録者を対象にオンデマンド動画配信 (YouTube限定公開) を予定いたします。



ENGAGE-TF (免疫アレルギー疾患研究10か年戦略次世代タスクフォース) の運営する「アレルギー総合診療のメーリングリスト」の登録者に参加URL等のご案内を差し上げます。左のQRコードまたは下のURLよりご登録ください。

<https://www.engage-tf.jp/mailling-list>

本セミナーシリーズ全体に興味がありましたら、ぜひご登録をお願いします。

診察編①

2023年9月27日 (水) 19:00~20:00

レクチャー1: 即時型と遅延型のアレルギーの違いを意識した病歴聴取 (呼吸器内科・正木克宜)

レクチャー2: 気管支喘息と他疾患の鑑別に役立つ聴診のポイント (呼吸器内科・田中希宇人)

レクチャー3: 小児診察の特性と小児アレルギー疾患診察のポイント (小児科・大崎侑佳)

症例検討編①

2023年11月10日 (金) 19:00~20:00

症例提示1: 術中アナフィラキシーを発症した小児例 (麻酔科・山谷直大、小児科・磯部あいこ)

症例提示2: 術中アナフィラキシーをくり返した成人例 (麻酔科・山谷直大、皮膚科・足立剛也)

レクチャー1: 周術期のアナフィラキシーの特徴 (麻酔科・寅丸智子)

レクチャー2: 薬剤アレルギー診断における皮膚テストの有用性と限界 (皮膚科・足立剛也)

診察編②

2023年12月13日 (水) 19:00~20:30

レクチャー1: 蕁麻疹・アトピー性皮膚炎・薬疹の診断や鑑別ポイント (皮膚科・宮川明大)

レクチャー2: アレルギー性鼻炎の診断と治療のポイント (耳鼻咽喉科・中山梨絵)

レクチャー3: 上眼瞼の翻転、眼瞼・結膜のアレルギー疾患の診断と鑑別 (眼科・矢津啓之)

合同症例検討: 症例をベースに各科の立場より、診断・治療についてのディスカッションを行います。

東京都アレルギー疾患拠点病院による医師向け研修 (日本医師会生涯教育制度1.5単位対象)

症例検討編②

2024年1月31日 (水) 19:00~20:00

症例提示&ミニレクチャー1: アナフィラキシー (救急科・垣内大樹)

症例提示&ミニレクチャー2: 家庭医療で診るアレルギー疾患 (総合診療科・安藤崇之)

Q&Aコーナー: 医学生・研修医・若手医師からの質問に各診療科のアレルギー専門医が回答します

主催: 慶應アレルギーセンター

協力: ENGAGE-TF



ENGAGE-TF toward 2030

本事業は公益財団法人医学教育振興財団・2023年度医学教育研究助成により運営しており、製薬企業の支援は受けておりません。